

総合戦略関連事業進捗状況一覧表

【調査票3】

基本目標 気持ちいい住環境 “暮らしたいまち”がある

①チャレンジする重点事業	②新たにチャレンジする主な取り組み	③実施状況			④担当課	⑤令和2年度以降新たに取組んだ[取組む]内容
		準備中	実施中	完了		
犬山市での子育てと女性の活躍を応援します	「応援チーム」と連携した子育てと女性の活躍応援事業		○		子ども未来課ほか	市や団体、企業など、市全体での子育て支援を継続するため、子育てと女性活躍応援事業の中で立ち上げたNPO法人にこっとを受託者とし、新たに令和3年度から、利用者支援事業を委託実施する。
	子育てと女性の活躍応援事業の情報発信		○		子ども未来課	子育て期の女性の活躍を応援するため、子育て分野で利用可能なシェアリングエコノミーの普及を図る。令和2年度はオンラインいぬやま子育てシェア博を実施したほか、子育て応援サイトによる情報発信を開始した。
	病児保育事業実施	○			子ども未来課	引き続き、病後児保育事業の実施に向けて、医療機関との協議する。
	多子世帯支援策の強化		○		子ども未来課ほか	育休退園の見直し(保護者が育児休暇を取得した場合でも、2歳児に限り保育の継続を可能とする) 【令和3年度より】 ○多子・多胎世帯に対し(妊婦含む)、家事・育児援助のためのヘルパー派遣を実施。 ○市主催の講座等の一部を無料化 ○犬山産米の配布 等 【令和4年度より】 ○第3子以降の給食費・保育料(3歳未満児)・児童クラブ利用手数料(通年利用登録者)を無料化 等
	産後ケア事業の開始			○	健康推進課	5医療機関に事業を委託。延べ7人、合計32日間の利用となった。
子育て支援施設を計画的に整備します	子ども未来園施設整備		○		子ども未来課	橋爪・五郎丸新子ども未来園建設予定地の確定。地元説明会の開催。令和6年度中の新子ども未来園竣工に向け、設計や整備等の一連の事務を進める予定。
あらたな商業立地を積極的にすすめます	橋爪・五郎丸地区での道の駅エリア整備		○		都市計画課	令和元年度に道の駅エリア基本計画を策定。令和2年度に市民説明会の開催及び市民アンケート、整備・運営事業者の選定に着手する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、予定していた取り組みを当面見合わせることにした。検討再開の時期や今後の進め方については、市民生活や経済状況などを十分に考慮し適切に判断していく。
	幹線道路への商業施設誘致		○		産業課	不動産事業者と意見交換を行い、情報の収集や提供を行い進出を促した。
住環境(インフラなど)を整えます	重要な幹線道路の整備(富岡荒井線など)		○		整備課	令和2年度は、富岡荒井線の道路工事を75m(未供用)施工。令和3年度は、二ノ宮川の橋梁工事及び上小針交差点までの道路工事に着手。
	地区計画に基づく道路整備		○		整備課	令和2年度は、橋爪53号線外において道路拡幅工事を45m施工。令和3年度からは、橋爪・五郎丸地区計画に基づく道路整備に向けて、橋爪49号線外において、用地買収に取り組む。
	安全で快適に生活できるよう道路・橋梁等の修繕や街路灯を設置・修繕		○		土木管理課	幹線道路の計画的な舗装改修とは別に、その他の市道についても舗装の劣化が激しく、部分的な補修ではなく全面舗装が必要と考えられる路線が増えている。令和2年度からは、要望対応予算に加えて、地元要望や現地調査により優先度の高い路線を抽出し、計画的な舗装改修の予算を増額し実施している。
	移動支援方法の検討(地域住民の「足」の確保の検討)		○		防災交通課 高齢者支援課	犬山市全域のアンケート調査を行った。 20歳以上かつ要介護認定2以下の市民4,000人を対象に移動に関するアンケート調査を実施し、結果を分析した。(2,928通回収、回収率73.2%)
	宅地開発による道路整備の一部を補助			○	都市計画課	令和元年度から制度運用を開始し、令和2年度に制度活用に繋がる民間宅地開発の実績が1件あった。引き続き本制度に合致する開発について、適切に制度運用を促し住環境の改善に努める。
空き家の活用をすすめます	空き家情報提供(空き家バンク)による情報発信			○	都市計画課	空き地も掲載対象とするなど、空き家バンクの活用促進を行った。
	借主改修型(DIY型)空き家事業の活用・啓発	○			都市計画課	補助対象となる空き家所有者との調整を行っているが、具体的なDIY賃貸のモデルケースとなるような物件が出てきていない。
	空き家に関する相談窓口のワンストップ化			○	都市計画課	担当部局で指導不要となった物件についても、近隣の方々の相談程度に関わらず都市計画課で通知を行った。

総合戦略関連事業進捗状況一覧表

【調査票3】

基本目標 気持ちいい住環境 “暮らしたいまち”がある

①チャレンジする重点事業	②新たにチャレンジする主な取り組み	③実施状況			④担当課	⑤令和2年度以降新たに取組んだ[取組む]内容
		準備中	実施中	完了		
帰ろう ふるさと犬山へ 暮らそう 働く犬山で	ふるさと定住促進サポート事業			○	都市計画課	活用促進策として多子世帯の上乗せ加算制度を新設した。
	働きて定住促進サポート事業			○	都市計画課	活用促進策として多子世帯の上乗せ加算制度を新設した。
「里山に住む」仕組みづくりに挑戦します	優良田園住宅制度の活用			○	都市計画課	具体的な活用事例が出てきていないこともあり、対象となる農地の所有者に対して相談会などを行った。
	水辺を活かしたまちづくりプロジェクト		○		企画広報課 観光課	令和2年度に「河川空間全体活性化夢プランto 2030 ver.1.0」を作成(見直し)した。地元住民を中心に設立された「ミラマチ栗栖」とともにこのプランが実現できるよう側面支援を実施するとともに、市が重点的に推進するアクションに取り組む予定。 木曾川観光株式会社と連携し、河川空間の活性化と新たな魅力づくりを進めている。具体的には観光庁の誘客多角化事業の採択を受け(実施主体木曾川観光(株))、スイーツ船や船上ウエディング等、魅力的な遊覧船の実証事業を複数展開。水辺を活かした観光まちづくりを進めている。令和2年度末からは遊覧船の定期運航を実施。3月下旬から10月中旬までの毎日運航を実施する。
環境先進都市いぬやまを目指します	環境基本計画の改訂と推進		○		環境課	令和2年度(令和3年3月)に第2次環境基本計画を策定。計画期間(2021年～2030年)における施策指標の達成を目指す
	省エネ支援の強化	○			環境課	令和2年度はゼロカーボンシティを表明(令和3年2月)した一方、新型コロナウイルス感染症の影響により講座など省エネ普及啓発事業は未実施。令和3年度はCoolChoice(地球に優しい賢い選択)の普及促進事業を展開
	広域ごみ処理施設の整備		○		環境課	令和7年度供用開始を目指し、尾張北部環境組合と連携して事業を推進
誰もがいきいきと暮らせるまちをつくります	子育ての女性の活躍応援事業の実施(再掲)		○		子ども未来課ほか	(再掲のため略)
	介護予防事業の推進		○		高齢者支援課	スポーツボイス教室について、集合形式での実施からケーブルテレビでの放映に変更し、自宅のできる介護予防を推進した。
	地域生活支援拠点整備事業	○			福祉課	障害者自立支援協議会での協議を経て、令和3年度より地域生活支援拠点実施事業所の登録を開始する。
	多文化共生の推進		○		地域協働課	ポルトガル語母語教室の開催(令和2年度)、外国語窓口通訳者の採用(令和3年度から)、多文化共生フォーラムの実施
	健康市民づくりの推進		○		健康推進課	健康づくりに積極的に取り組む市内事業所に対し、市が健康づくり認定事業所として認定する制度を2年9月に開始。22の事業所を認定した。
地域の集いの場づくりを応援します	地域の集いの場づくりの支援			○	高齢者支援課	国庫補助事業を活用し、農福連携による集いの場を立ち上げた。(特定非営利活動法人シェイクハンズに事業委託を行い、楽田三ツ塚に「いぬやまコミュニティ農園」を開設した。)
安全・安心に暮らせるまちをつくります	通学路安全(路側帯のカラー舗装など)対策整備		○		土木管理課 学校教育課	「犬山市通学路交通安全プログラム」に基づき、計画的かつ継続的に対策を実施するため、令和2年度から予算を年間約2,000万円に増額し、プログラムに位置付けられたグリーンベルトやカラー舗装などを重点的に整備することで、児童・生徒が安心して通学できる歩行空間の確保を推進している。 整備にあたっては、国の社会資本整備総合交付金を申請し、財源を確保している。
	家庭や地域での防犯・防災対策支援		○		防災交通課	防犯・防災に対する補助事業を複数展開することで支援を行っている。
	災害対策、非常時の体制整備		○		防災交通課	地域防災計画に組織体制や分掌事務を定め、迅速な災害対応の体制を整えている。

総合戦略関連事業進捗状況一覧表

【調査票3】

基本目標 気持ちいい住環境 “暮らしたいまち”がある

①チャレンジする重点事業	②新たにチャレンジする主な取り組み	③実施状況			④担当課	⑤令和2年度以降新たに組み込んだ[取り組む]内容
		準備中	実施中	完了		
市民サービスをもっと簡単に分かりやすく	ICTの活用(手続きのオンライン化、キャッシュレス化)		○		情報政策課 収納課ほか	<ul style="list-style-type: none"> ・スマート申請 市民課、税務課、収納課における証明書交付申請に対し導入。スマホ、マイナンバーカードによる申請、クレジットカードによる手数料納付を可能にした。 ・オンライン申請(あいち電子申請届出システム)※オンライン決済不可 オンライン申請可能手続きの拡充 ・QRコード決済「PayPay」 市民課、税務課、収納課、都市計画課の窓口で交付する証明書や図面等の発行手数料への導入 ・コンビニ交付 住民票の写し、印鑑登録証明書のコンビニ交付の導入
	手続きの簡素化			○	全課	各種申請書等の押印廃止に全庁的に取り組んだ。 また、税証明に係る申請書様式の見直しや消防訓練実施報告書を電子申請による報告もできるようにした。 子ども未来園ではICTを活用した登降園システムを導入した。

総合戦略関連事業進捗状況一覧表

【調査票3】

基本目標 居場所と出番 “活躍したいまち”がある

①チャレンジする重点事業	②新たにチャレンジする主な取り組み	③実施状況			④担当課	⑤令和2年度以降新たに取り組んだ[取り組む]内容
		準備中	実施中	完了		
犬山らしい教育を進めます	読解力向上推進		○		学校教育課	各校の図書館教育を担う教員による読書活動推進委員会を設置するとともに、各校の読書教育への支援をする図書館コーディネーターを設置し、読書量を増やすための取組を実施。
	図書館改革		○		学校教育課	図書館コーディネーターや学校司書を中心に、学校図書館を読書と学習の機能を備えた空間に改造する取組を実施。
	学校施設の計画的な改修		○		学校教育課	犬山市小中学校施設の長寿命化計画に沿って、楽田小学校の整備を令和3年度に終える。次に予定している犬山南小学校については、設計業務を進め、令和4年度から工事着手予定。
がんばる企業と新たな起業を応援します	後継者バンク創設	○			産業課	どのような制度設計が望ましいのか、専門家と調整中
	企業のマーケティング戦略の支援強化	○			産業課	令和3年中に補助要綱を制定し、中小企業の活用を促し支援する予定。
新たな地域ブランド開発を応援します	新たな特産品の開発支援		○		産業課	商工会議所や特産品協会への補助を行い、活動への支援を行った。
	特産品・工業製品を通じた市外への犬山PR作戦		○		産業課	特産品協会と連携し、市外で特産品のPRを行った。
	新たに開発・商品化した事業者に対する販売促進活動などへの助成(6次産業化支援事業など)	○			産業課	令和3年度中に農産物付加価値向上補助金を創設し、支援予定
「しごとの場」を増やします	産業集積誘導エリアへの企業誘致		○		産業課	不動産事業者と意見交換を行い、情報の収集や提供を行い進出を促した。
	企業再投資促進		○		産業課	企業再投資促進補助金により市内企業へ補助を行い、設備投資を促進した。
農業でがんばる人を応援します	耕作放棄地対策		○		産業課	令和3年度中に耕作されていない苗田の区画拡大を図り、耕作者調整を進めていく。
	農業の担い手育成		○		産業課	令和3年度中に新規就農支援補助金制度を創設し、新規就農者の確保・育成を図っていく。
シェアリングエコノミーでスキルを活用	シェアエコの普及活動		○		企画広報課	これまでは、会場を確保して説明会実施してきたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、初めてオンラインによる説明を実施した。(「オンラインいぬやま子育てシェア博2020」の中で、シェアエコ事業者を紹介するコーナーを設けた。)令和3年度以降も工夫して説明会を開催し、新規利用者の増加を図るとともに、新たなシェアエコサービスの普及啓発を図る。
	シェアエコを活用した地域課題の解決	○			企画広報課	これまでの駐車場シェア、体験メニュー(観光振興)の取り組みの深化を図るとともに、市の課題解決のために資する新たなシェアエコサービスの検討を行う。
文化・スポーツで活躍で・交流きるまちづくり	社会教育施設の修繕		○		文化スポーツ課	図書館の照明のLED化により電力量削減によるCO2排出削減を行った。また、EMSを設置し、エネルギー消費量を見える化し、削減に取り組んでいる。
犬山の活性化へ金融機関・商工会議所・大学等と連携	連携事業候補の洗い出し		○		全課	名古屋経済大学、犬山商工会議所とは2者による会議を定期的に開催するとともに、継続して連携事業を実施している。令和2年度は、名古屋経済大学と新たに4事業を実施した。
	リーディングプロジェクト(先行事業)の抽出・検討・実施		○		企画広報課	子育てと女性の活躍応援事業の一環として開催している「子育てシェア博」について、地元企業の協力に加え、令和2年度からは新たに名古屋経済大学の協力を得て実施した。
みんなで地域力UP！にチャレンジ	地域の課題解決支援事業		○		地域協働課	令和2年度はコロナ禍のため未実施。令和3年度実施に向けて公募を実施。

総合戦略関連事業進捗状況一覧表

【調査票3】

基本目標 居場所と出番 “活躍したいまち”がある

①チャレンジする重点事業	②新たにチャレンジする主な取り組み	③実施状況			④担当課	⑤令和2年度以降新たに取り組んだ[取り組む]内容
		準備中	実施中	完了		
市民が主役のまちづくりを進めます	協働プラザの整備・運営		○		地域協働課	まちづくり活動のつながる拠点施設となる犬山市協働プラザ「わんまる一む」の運用初年度として、基盤を整えることができ、情報発信として、WEBサイトの構築、季刊誌の発行(4回)行った。 また、相談業務、情報収集の仕組みとなる地域資源バンク、対話から事業を生み出すフューチャーセッション@犬山を実施した。
	市民活動支援施策の推進	○			地域協働課	市民活動支援条例の改正に併せ、施策の推進について検討、実施していく。
	市民活動団体が自立するための団体経営に関する支援の強化		○		地域協働課	令和2年度に組織論とコミュニケーションを学ぶ講座「協働推進学習会」を計3回実施。
	協働のまちづくり基本条例の推進	○			地域協働課	施行から5年ごとに行う条例の見直しに向け、令和4年度以降に市民参加による検討の場を設けていく予定。
	市民活動支援条例の改正	○			地域協働課	令和3年度から改正の検討ワークショップ及び審議会を実施。
	”活躍の場”づくり(フューチャーセッション)		○		地域協働課	協働プラザの事業として、令和2年度から実施。7回で延べ参加者117名。
	地域資源バンクの活用		○		地域協働課	協働プラザの事業として令和2年度から実施し、令和3年度からシェアリングエコノミーとして展開を予定。16件の人材及び団体の情報を収集し、活用案件としてのコーディネートは7件。

総合戦略関連事業進捗状況一覧表

【調査票3】

基本目標 居場所と出番 “訪れたいまち”がある

①チャレンジする重点事業	②新たにチャレンジする主な取り組み	③実施状況			④担当課	⑤令和2年度以降新たに取り組んだ[取り組む]内容
		準備中	実施中	完了		
シティプロモーションを積極展開します	市ホームページリニューアルなどによる効果的な情報発信		○		企画広報課	令和3年3月にトップページを中心とした市HPのデザインリニューアルを実施し、スマートフォンからのアクセスを意識した作りとした。引き続きSNS、広報紙、プレスリリースなど積極的に情報を発信する。
	シティプロモーション強化事業		○		企画広報課	令和3年度には市の魅力的で独自性の高い事業を題材に、映像制作会社などへ発注し動画を作成。合わせて動画コンテストを開催し、市内外の人が自分の感じる犬山市の魅力を発信しながら、愛着を醸成する。また、市が使用できる動画素材を集める。
戦略ある“観光まちづくり”をすすめます	観光戦略の策定と推進		○		観光課	令和2年度策定完了予定であった犬山市観光戦略は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、令和3年度末の策定に変更した。令和2年度はコロナの影響及びコロナ禍においても必要な犬山らしさについての検証・検討を進め、それらを踏まえ令和3年度に策定を完了する予定。
	観光×○○事業		○		観光課	市民皆さんの日々の暮らしの営みやスキルを活かした「体験型観光メニューの造成」を、シェアリングエコノミーの仕組みを利用し進めている。「観光×市民の皆さんのスキル(得意わざ)」を掛け合わせて、新しい観光の魅力を高めていく。
木曽川河川空間を活性化します	木曽川河畔の整備(栗栖地区)	○			企画広報課 観光課	令和2年度に「河川空間全体活性化夢プランto 2030 ver.1.0」を作成(見直し)。市が重点的に推進するアクションとして、「【短期】ビュースポットの整備」をあげており、次年度はこの実現に向けての検討を開始する。栗栖園地に隣接する雑木林が国土強靱化事業の一環で、国が伐採を行ったため、跡地を栗栖園地の一部として拡張利用する。今後、利活用の内容や造成の手法など、財源も含め検討・実施する予定。
	地域の魅力づくりと発信(栗栖地区)	○			企画広報課 観光課	令和2年度に「河川空間全体活性化夢プランto 2030 ver.1.0」を作成(見直し)。これに基づき、地元住民を中心とした団体「ミラマチ栗栖」が実施するアクションの側面的支援を実施する。地域住民や発展会と連携・協働する中で、暮らしと観光の共存を目指す。具体的には魅力的な体験型の観光メニューの造成や、アウトドアを切り口としたコンテンツの充実を図り、その上で効果的な情報発信を目指す。
	飲食・物販やイベントを通じたにぎわいと地域活力の創造(内田地区)	○			企画広報課 観光課	平成30年度、令和元年度にはロングラン花火にあわせて、木曽川河畔の遊歩道で飲食・物販イベント「宵のいぬやMARCHE」を試験的に実施したが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施を見送った。令和3年度も本イベントを試験的に実施するとともに、本格運用の検討を行う。
文化財を保存し、魅力を創出・発信します	歴史資料等の収集・編纂	○			歴史まちづくり課	市所有資料の整理に着手した。
	文化財保存活用地域計画の策定		○		歴史まちづくり課	計画策定作業に着手した。
	(犬山城)城山などの史跡整備		○		歴史まちづくり課	移築された門、櫓の実測調査を実施した。